

12/1
 (日)

熊本学園大学 × 熊本市西区 地域活性化につなげるジビエ料理研究会を開催

熊本学園大学経済学部でICT（情報通信技術）を活用した地域課題解決の研究を行う境章教授のゼミでは、熊本市西区に協力し「ジビエ料理研究会」を開催します。

これは、ジビエの持つ家畜にはない風味や滋養効果などの魅力を知ってもらうとともに、多くの人に喜んでもらえる安全で美味しいジビエ料理を考案するものです。

2016年に「鳥獣被害防止特措法」が改正され、捕獲した野生鳥獣は食肉（ジビエ）などとして積極的に活用することが求められています。熊本市西区でも、イノシシなどによる鳥獣被害が深刻な問題となっていますが、ジビエを活用することで地域の活性化につなげようと、昨年からのコンテスト形式での料理研究会が企画され、今年で2回目の開催です。

昨年の最優秀グループのレシピは、(一社)日本ジビエ振興協会が主催する第3回ジビエ料理コンテストに応募したほか、全レシピを一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が実施する「アーバンデータチャレンジ(UDC)」のホームページに公開しました。

境教授の研究室は、今年11月にICTを使って西区の地域課題解決を考えるワークショップ「1592(ひごのくに)-249(にしく)ソン」も開催し、アーバンデータチャレンジの地域拠点に選定されています。よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。



〈ジビエ料理研究会 開催概要〉

- 開催日 2019年12月1日(日) 10:00~13:00
- 場所 熊本市西部公民館 調理室(熊本市西区小島2丁目7番1号)
- 参加者 個人またはグループで6組まで(1グループは4名以内)
- 内容 肉(ジビエ)500グラム・野菜&調味料などの購入費2,000円を支給
参加者が考案したジビエ料理を調理・試食のあと参加者による投票
- 主催 熊本学園大学経済学部 境章(さかい あきら)研究室、Code for Kumamoto
西区味生池周辺エリア振興協議会、アーバンデータチャレンジ
- 共催 NECソリューションイノベータ九州
- 協力 くまもと農家ハンター

本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学 広報室 TEL: 096-364-8722 (直通)

クマガク プレスリリース等メディア情報

<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/category/media>

